

世界が進むチカラになる。



経済調査

グラフで見る関西経済 (2024年11月)

2024年11月5日

調査部 主任研究員

塚田裕昭

今月の景気判断～持ち直しの動きがみられる

【今月のポイント】

- 関西経済は、持ち直しの動きがみられる
- 8月の生産は前月比-6.8%と2カ月ぶりにマイナスとなり、均してみると横ばい圏で推移している
- 9月の実質輸出は5カ月連続で上昇し、持ち直しの動きがみられる
- 8月の名目賃金指数は、前年比+4.3%と9カ月連続でプラスとなった。実質でも同+0.5%と2カ月ぶりにプラスとなった。
- 9月の小売販売額は、名目では前年比でプラスとなったが、実質ではマイナスとなった

項目	現状
景気全般	持ち直しの動きがみられる
生産	横ばい圏で推移している(↓)
輸出	持ち直しの動きがみられる
設備投資	増加している
雇用	持ち直しの動きがみられる
賃金	持ち直している
個人消費	持ち直している
住宅投資	横ばい圏で推移している
公共投資	高めの水準となっている

注: ()内は前月からの変化の方向

生産は「持ち直しの動きがみられる」から下方修正(↓)

生産

8月の鉱工業生産(関西)は前月比-6.8%と2ヵ月ぶりにマイナスとなり、均してみると横ばい圏で推移している。電気機械は増加したが、電子部品デバイス、化学、汎用・生産用・業務用機械が減少した。

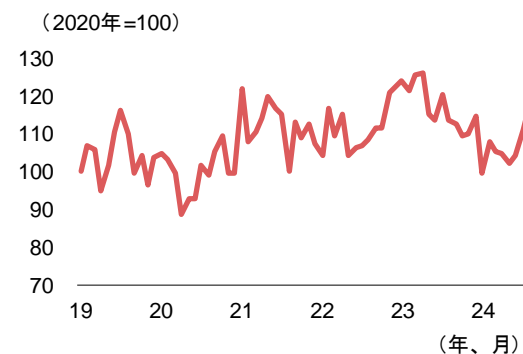
鉱工業生産指数



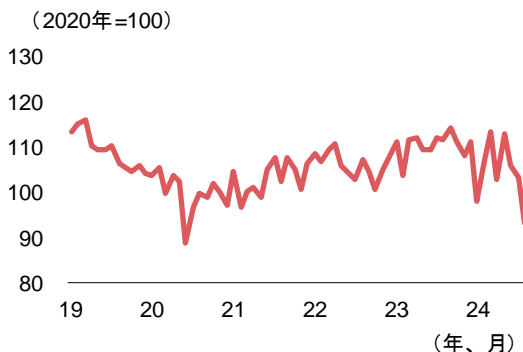
電子部品デバイス



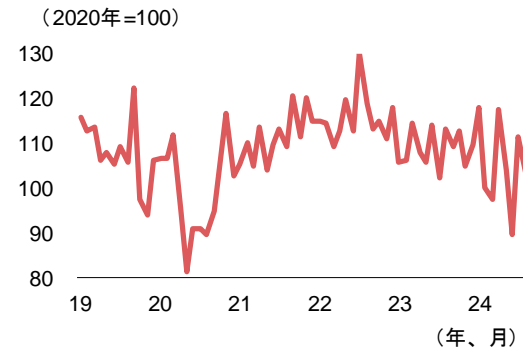
電気機械



化学



汎用・生産用・業務用機械

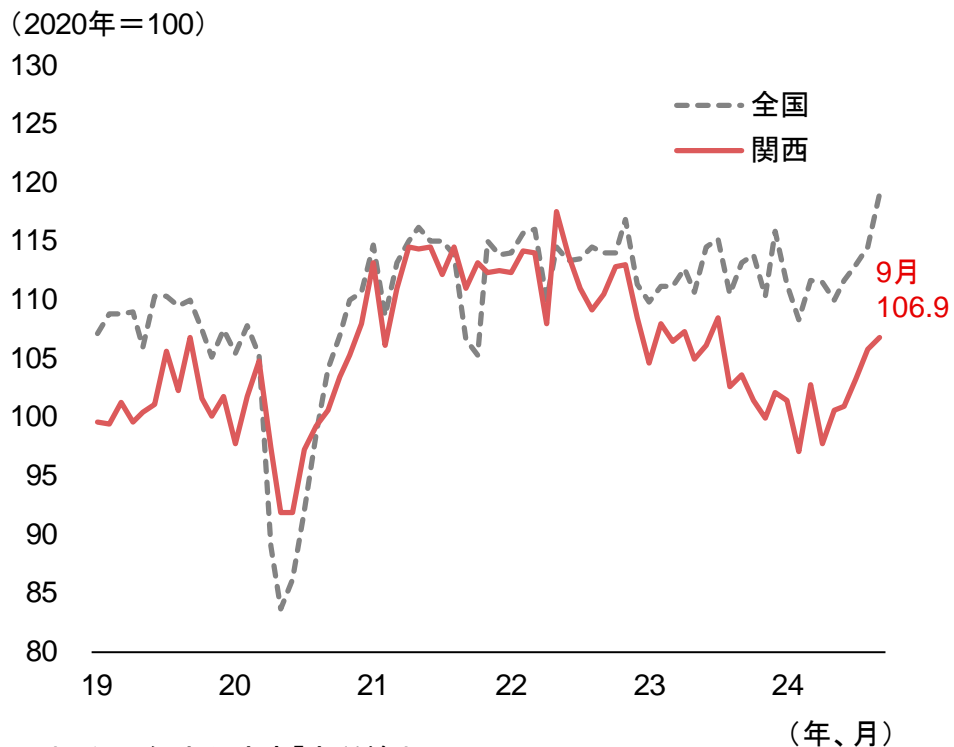


(出所)経済産業省「鉱工業生産動向」

輸出

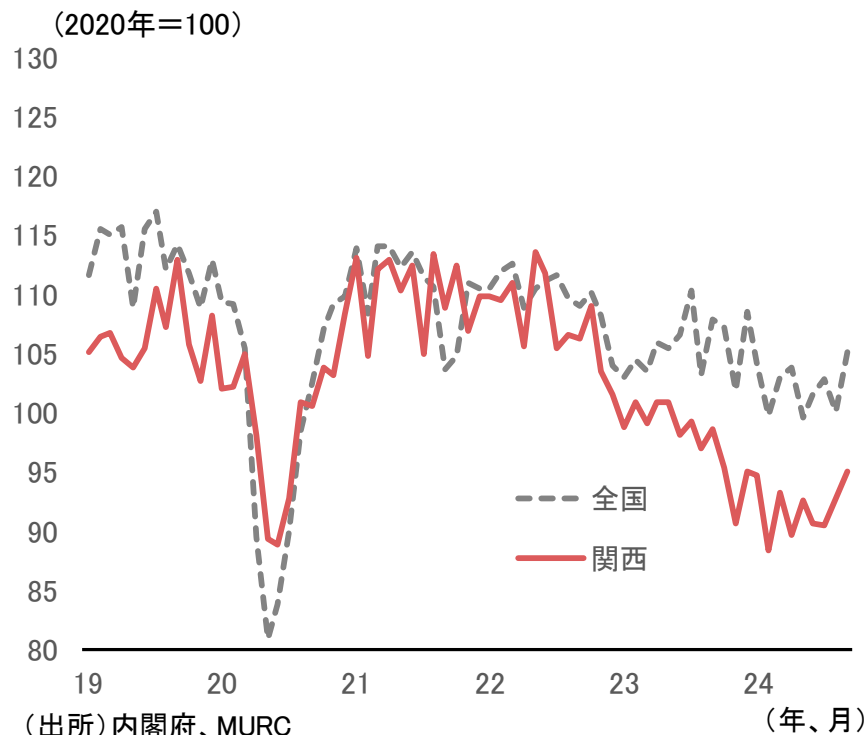
9月の実質輸出(季節調整値)は、前月比+1.0%の106.9と5ヵ月連続で上昇し、持ち直しの動きがみられる。当社試算による9月の輸出数量指数(季節調整値)は2ヵ月連続で上昇した。

実質輸出指数(季節調整値)



(出所) 日銀大阪支店「実質輸出入」

輸出数量指数(季節調整値)



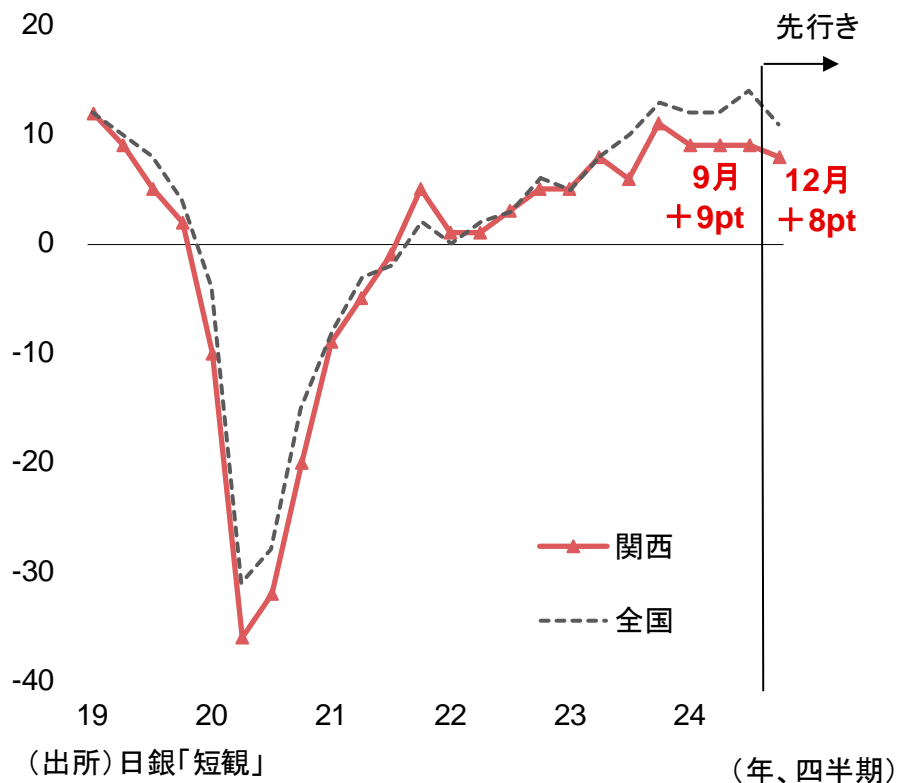
(出所) 内閣府、MURC

(注) 関西の数量指数はMURC試算。輸出金額(指数)を輸出価格指数(全国)で除したものの。

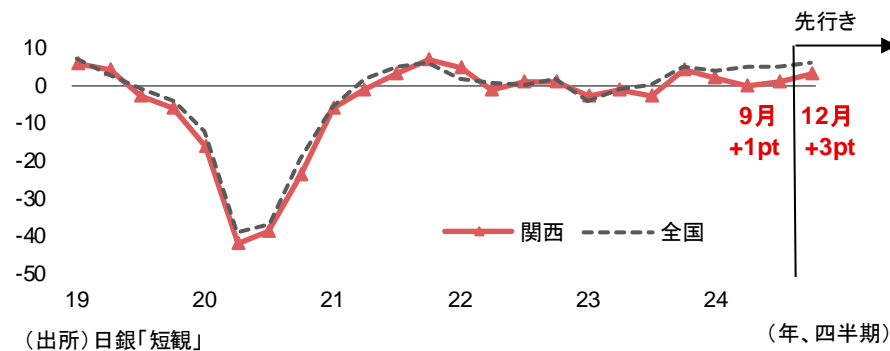
企業景況感(日銀短観) ※以下は10/1公表の9月調査。12月調査は12/13公表予定

日銀短観9月調査の業況判断DI(「良い」-「悪い」)は、全産業で+9ptと3月6月調査と同水準。製造業は+1ptと1pt上昇、非製造業は+19ptと2pt上昇した。業種別に見ると、製造業では電気機械が大幅に上昇した。非製造業では引き続きすべての業種で「良い」超となった。先行き(12月)については、製造業は上昇、非製造業は低下が見込まれている。

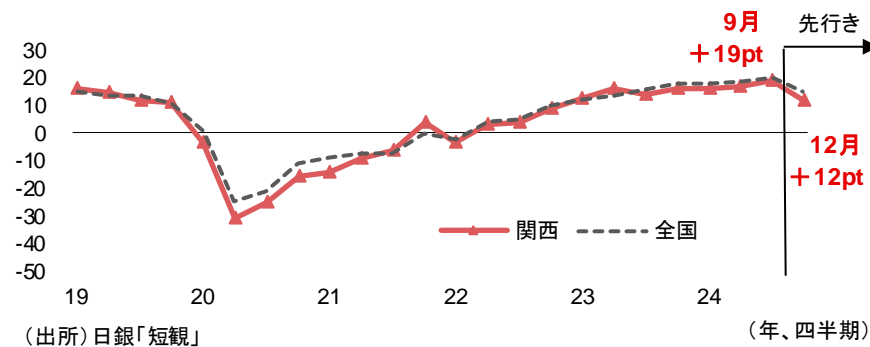
短観 業況判断DI「全産業」



同 製造業



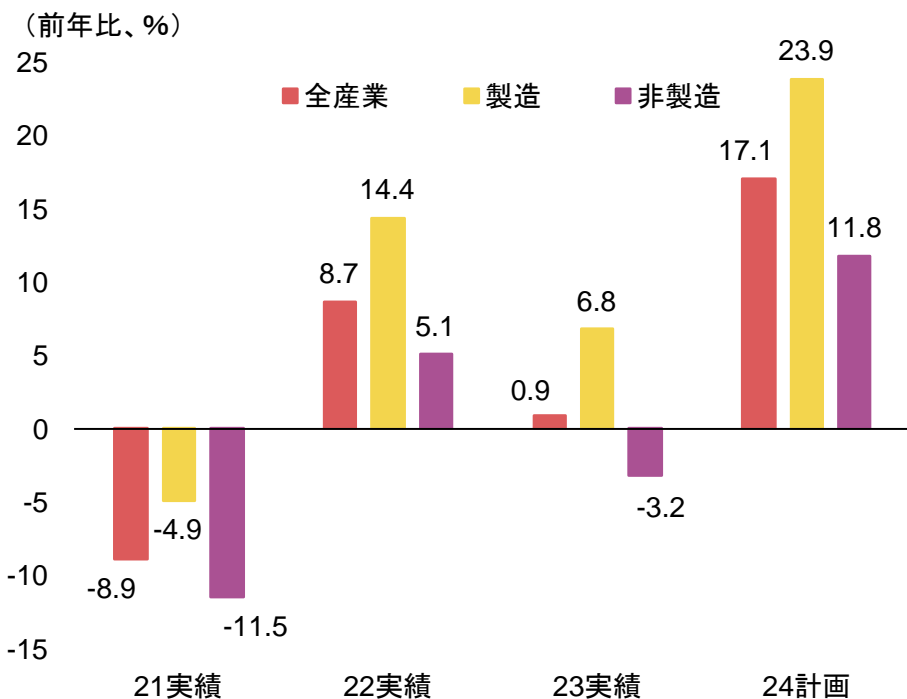
同 非製造業



設備投資※以下は10/1公表の9月調査。12月調査は12/13公表予定

日銀短観9月調査によると、24年度の設備投資は前年比+17.1%と高い伸びが見込まれている。製造業では、はん用・生産用・業務用機械、金属製品等が、非製造業では、建設、宿泊・飲食サービス等が高い伸びを見込んでいる。

設備投資 実績・計画



(出所)日銀大阪支店「短観」

(年度)

(注)設備投資は、含む土地投資額

設備投資額(前年比%)

	23年度 実績	24年度計画		
		今回調査	(前回調査との差異)	前回調査
全産業	0.9	17.1	(0.7)	16.4
製造業	6.8	23.9	(-0.8)	24.7
非製造業	-3.2	11.8	(1.6)	10.2

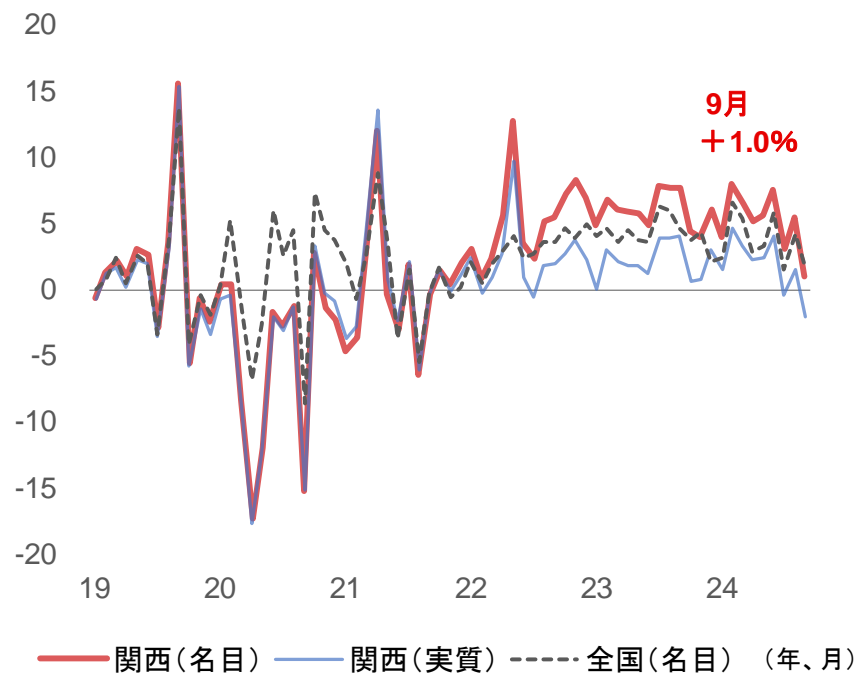
個人消費(小売売上、自動車販売)

9月の小売販売額(名目)は前年比+1.0%と36か月連続でプラスとなった。実質値を試算すると、9月は前年比-2.0%と2か月ぶりにマイナスとなった。

9月の新車販売は、前年比+3.5%と3か月連続でプラスとなった。普通車、小型車、軽自動車いずれもがプラスとなった。

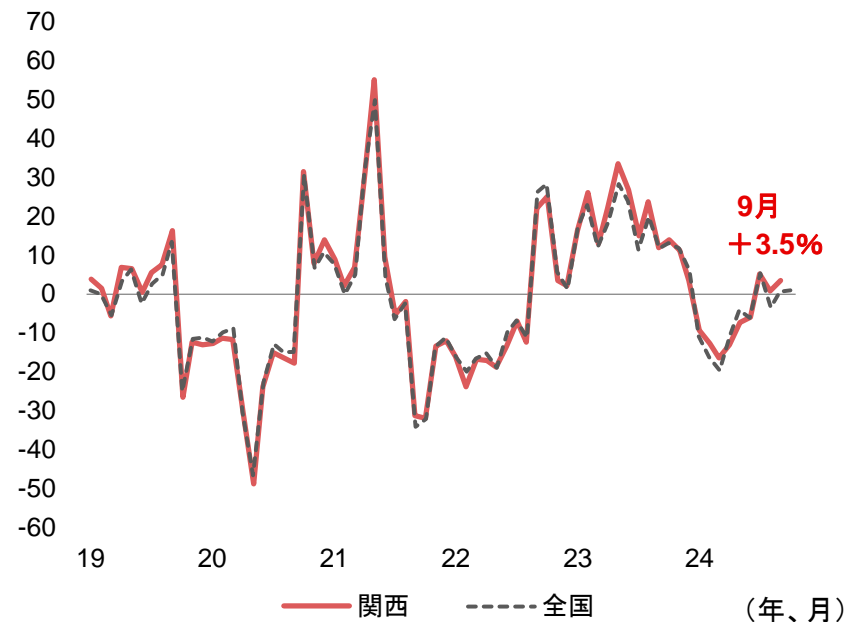
小売販売額(6業態計)

(前年比、%)



新車販売台数(含む軽)

(前年比%)



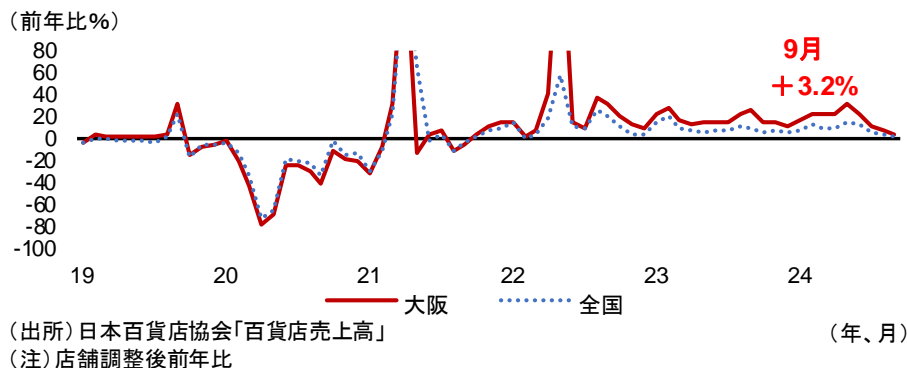
(出所) 日本自動車販売協会連合会「新車販売台数状況」
全国軽自動車協会連合会「軽四輪車新車販売」

(出所) 経済産業省「商業動態統計」からMURC試算
(注) 百貨店、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、家電量販店、ホームセンターの合計
「持家の帰属家賃を除く総合(関西)」で実質化

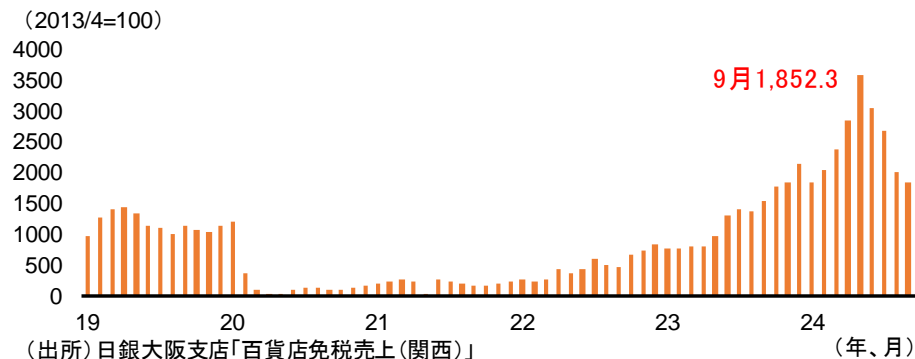
個人消費(業態別)

9月の百貨店売上(大阪)は、前年比+3.2%と36ヵ月連続でプラスとなったが伸び率は鈍化した。前年のプロ野球優勝セールとの反動で伸び率が鈍化した面もある。9月の京阪神百貨店免税売上指数は前年比+19.7%増の1,852.3と高い伸びが続いているが、円高が進んだこともあって伸び率が鈍化している。

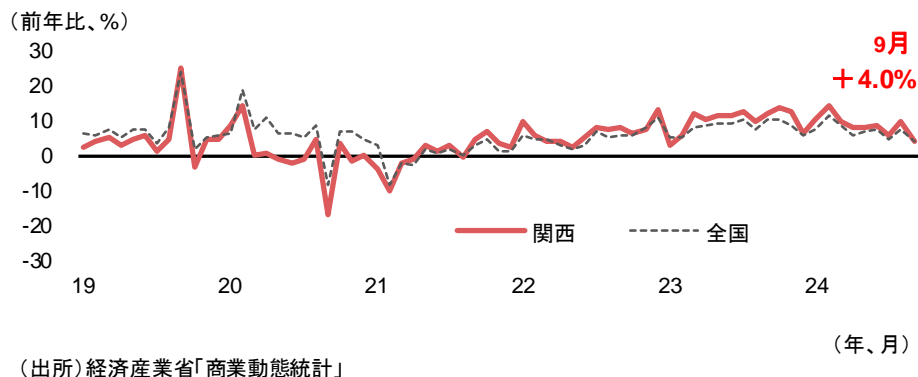
百貨店売上高



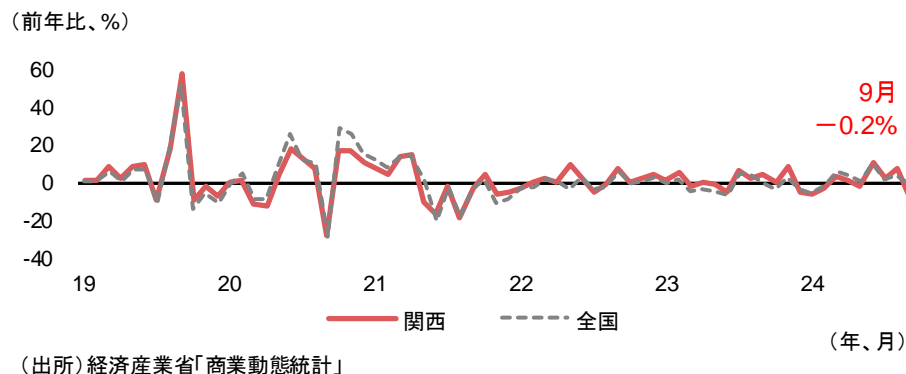
京阪神百貨店免税売上高



ドラッグストア販売額



家電大型販売店販売額

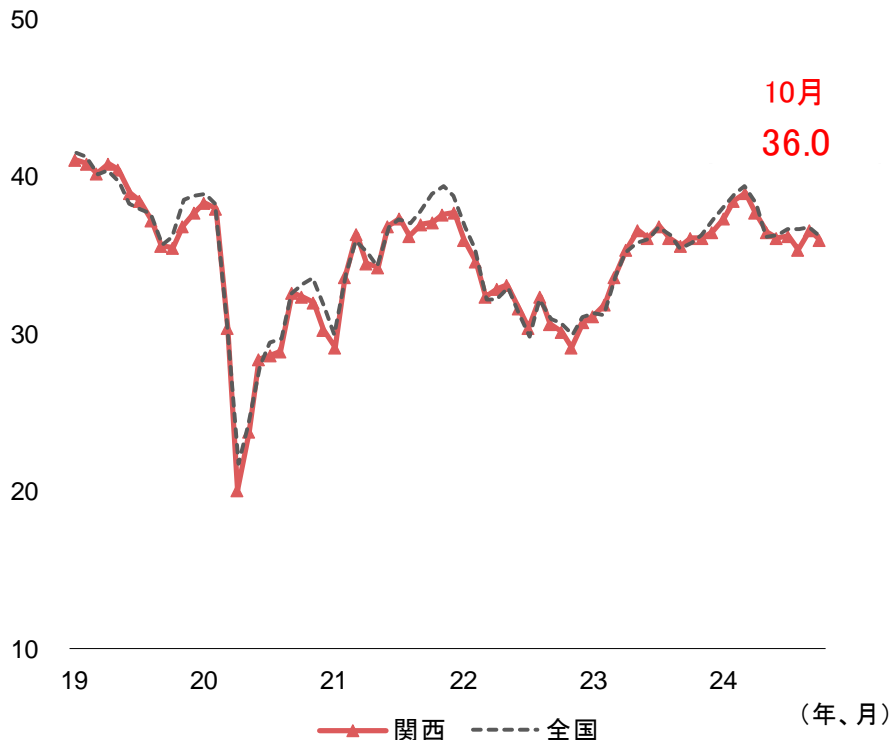


マインド・景況感

10月の消費者態度指数(季節調整値)は36.0と2ヵ月ぶりに低下した。

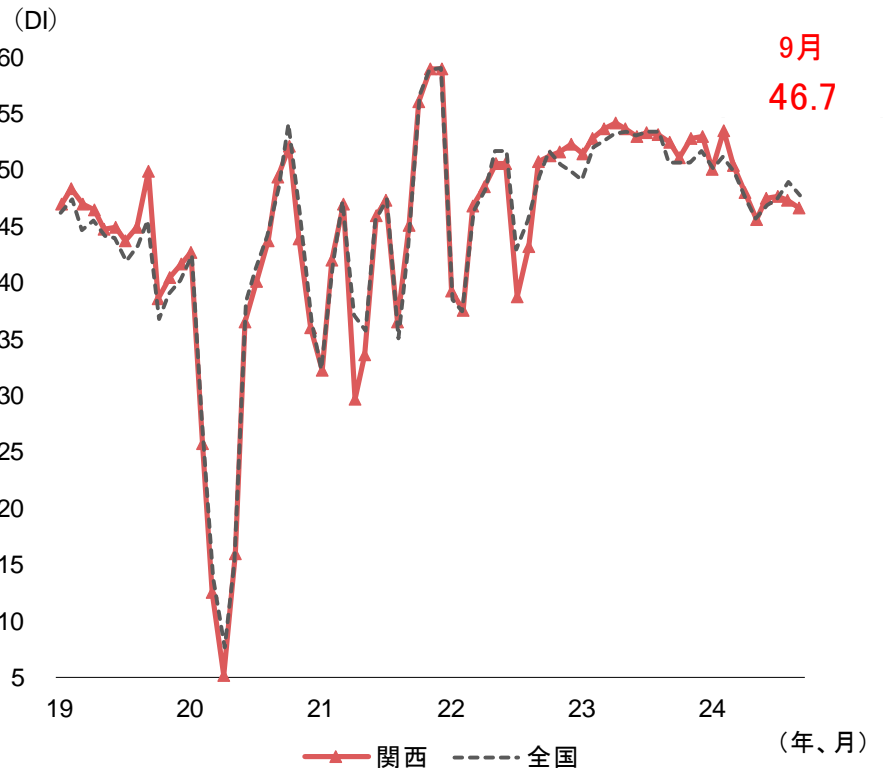
9月の景気ウォッチャー調査(現状判断DI)は前月差0.7pt低下の46.7となり、横ばいを示す50を6ヵ月連続で下回った。インバウンドについては、引き続き好調であるとの声がある一方で、減速を指摘する声も散見される。

消費者態度指数



(注)関西の季節調整値はMURC試算
(出所)内閣府「消費動向調査」

景気ウォッチャー調査(現状判断)



(出所)内閣府「景気ウォッチャー調査」

賃金・雇用

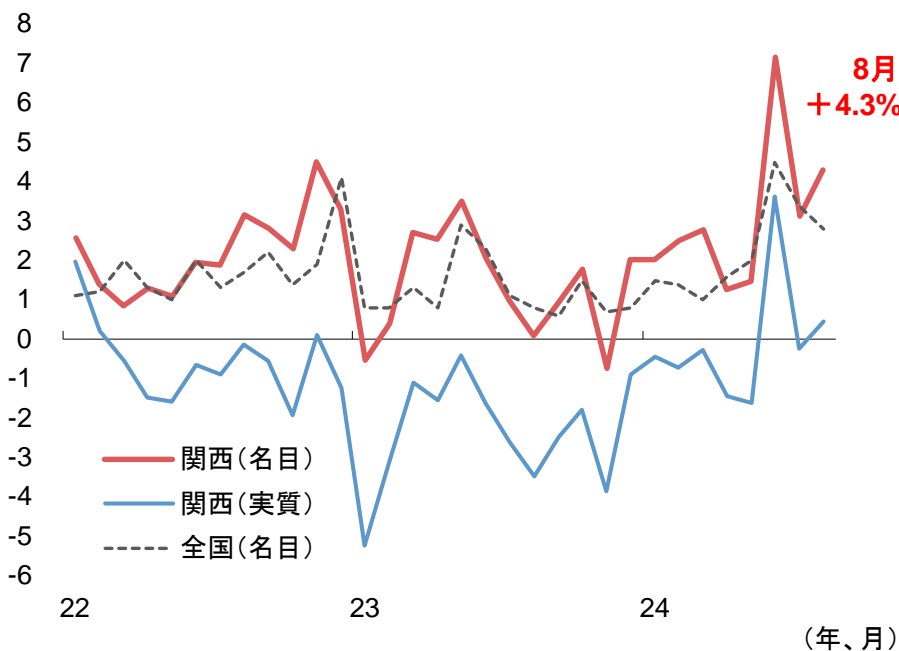
8月の関西の名目賃金指数は、前年比+4.3%と9カ月連続でプラスとなった。実質でも同+0.5%と2カ月ぶりにプラスとなった。

9月の有効求人倍率は1.14倍と前月とほぼ同水準。求人倍率は全国と比べ低めで推移している。

24年7-9月期の失業率は2.7%と前期から小幅上昇、就業者数は増加した。

名目賃金指数

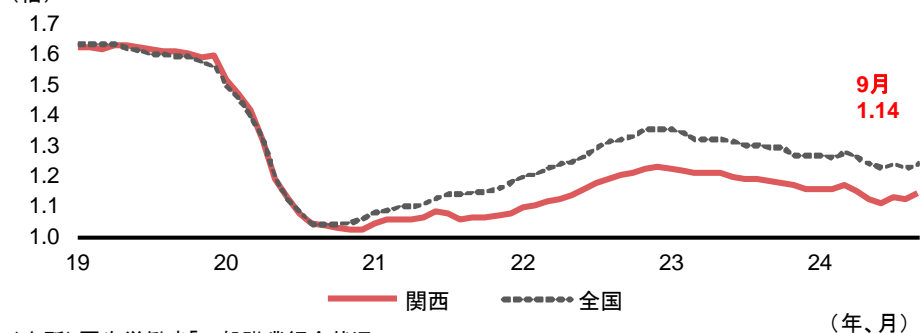
(前年比、%)



(出所) 関西2府4県の名目賃金指数(現金給与総額)、常用雇用者指数よりMURC作成
(注) 「持家の帰属家賃を除く総合(関西)」で実質化

有効求人倍率(季節調整値)

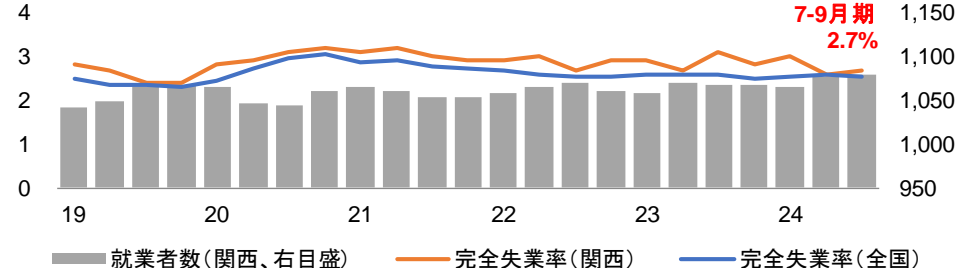
(倍)



(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」

失業率と就業者数(季節調整値)

(%)

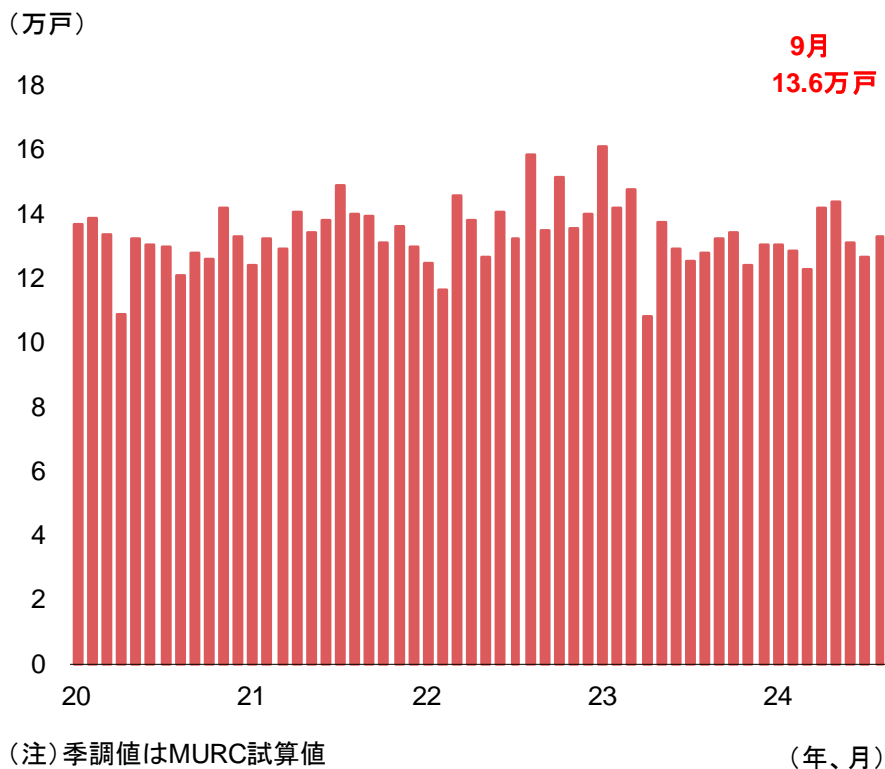


(出所) 総務省「労働力調査」

住宅投資

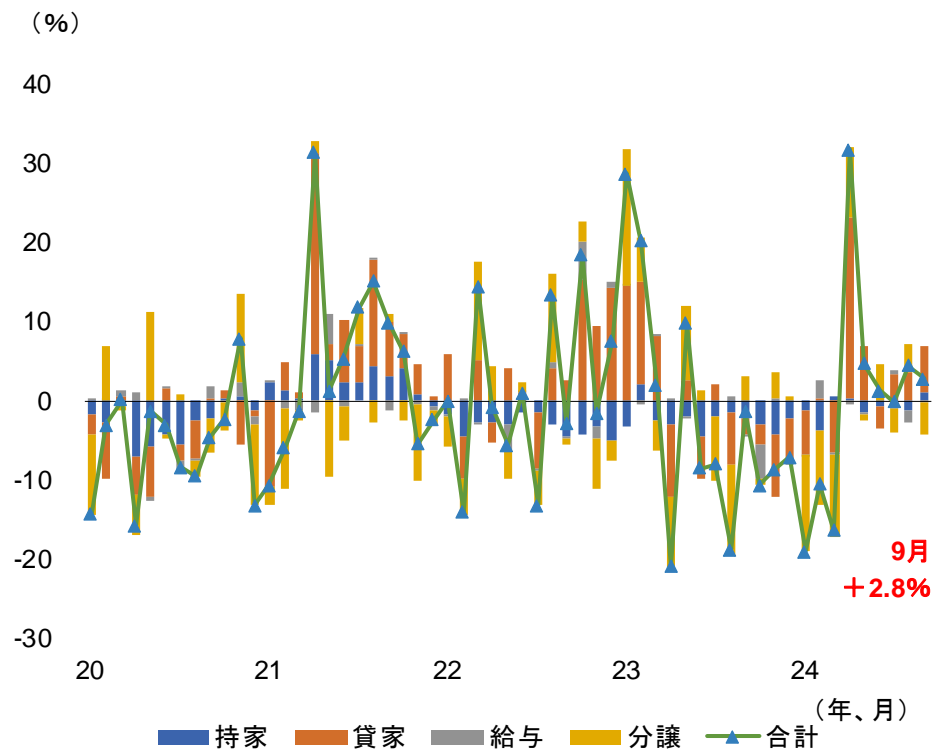
9月の住宅着工は、季調・年率13.6万戸と2ヵ月連続で前月比で増加した。前年比では、分譲が減少したが、持家、貸家が増加し、全体で+2.8%と2ヵ月連続で増加した。関西の住宅投資は、均してみると横ばい圏で推移している。

新設住宅着工戸数(季調済年率換算)



(注) 季調値はMURC試算値
(出所) 国土交通省「建築着工統計」

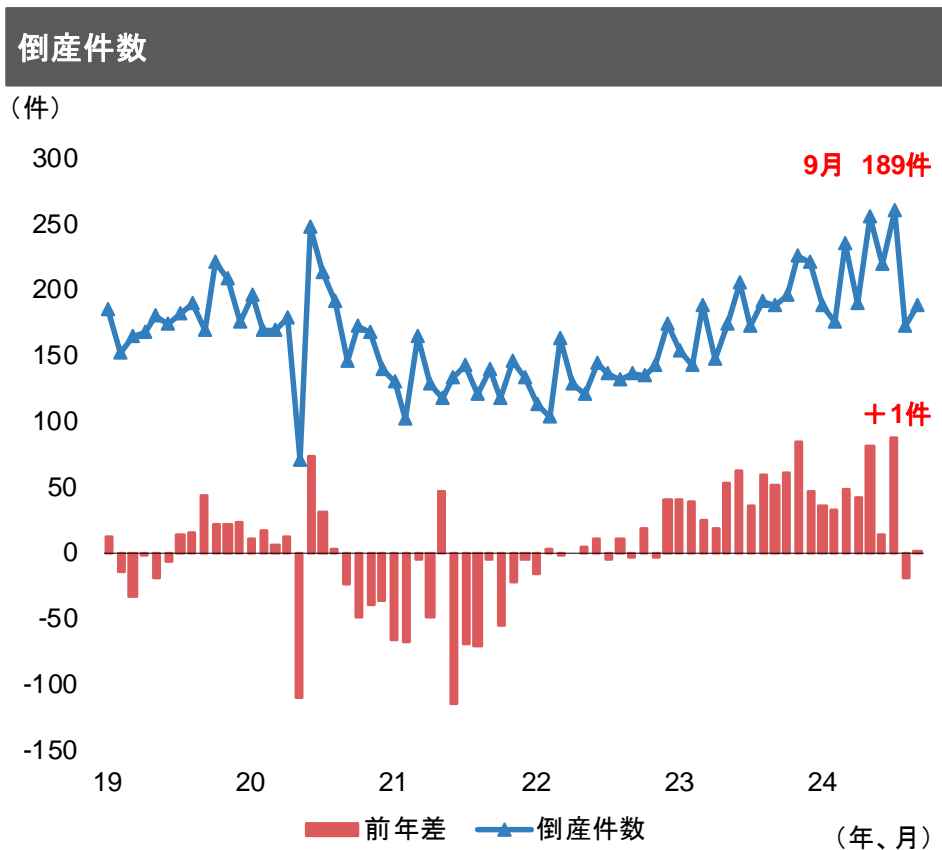
新設住宅着工戸数(前年比)



(出所) 国土交通省「建築着工統計」

倒産

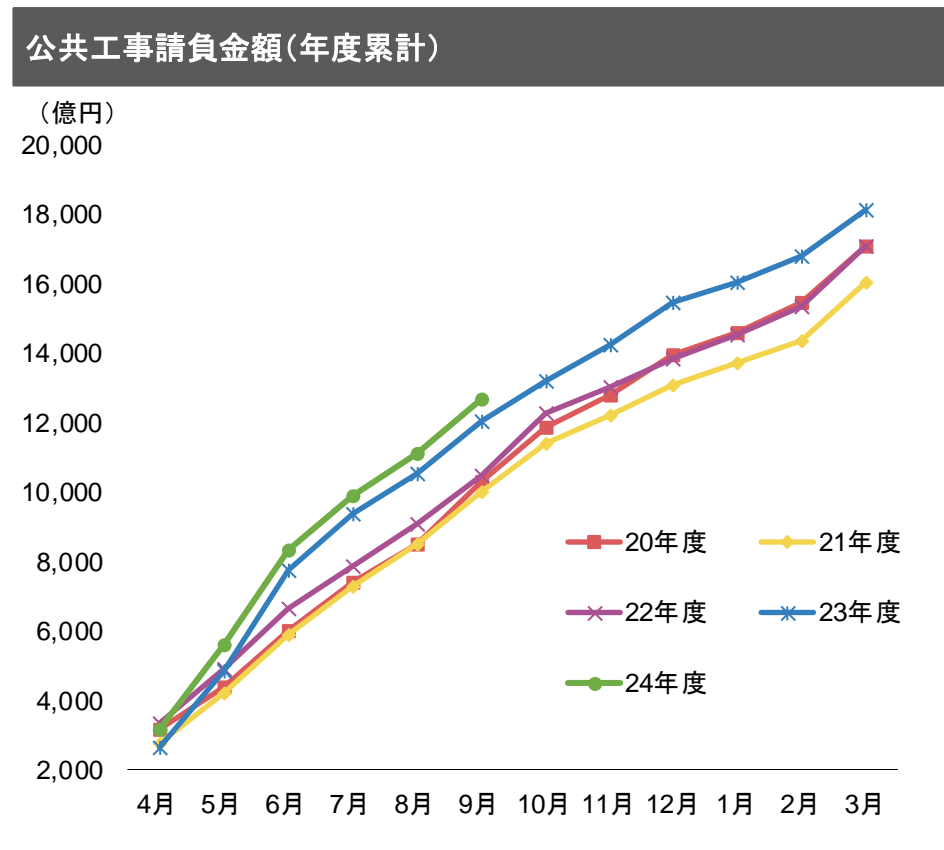
9月の倒産件数は189件と前年から1件増加。概ねコロナ前程度の水準で推移している。



(出所)東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」

公共投資

9月の公共工事請負金額(年度累計)は、前年比+5.6%の1兆2,717億円。高めの水準となっている。



(出所)東日本建設業保証「公共工事前払金保証統計」

ご利用に際して

- 本資料は、執筆時点で信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客さまの決定、行為、およびその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客さまご自身でご判断くださいようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず、出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください。

(お問い合わせ)

調査・開発本部 調査部 塚田

TEL:03-6733-1626 E-mail:chosa-report@murc.jp

〒105-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー